



## あさひ互近所ささえ～る隊の活動紹介

朝日地区では、今年度3地域で支え合いの仕組みづくりについて考えました。

檜原集落では、昨年度から3回の座談会を開催。「隣近所の支え合いのある檜原集落」を目標に、「檜原安心支え合い事業（安否確認）」を4月1日から行います。各組ごとに、世帯全員が普段通りに過ごしているかを1週間ごとに持ち回りで確認し合い、その中で気づいたことや依頼されたことなどを日誌に記載し、集落内で共有します。

長津地区（笹平・瑞雲・釜杭・小揚集落）では、住民アンケートの中で「気軽に集まる機会がほしい」との希望が多かったことから、実現に向けて話し合いを進めています。

薦川集落では、まちづくり協議会が主体となり3回の座談会を開催し、困っていることの共有化ができました。

このように朝日地区では支え合いのしくみづくりに向け一歩一歩進んでいます。3月9日(土)午後1時30分から総合文化会館で、この3地域の実践発表を予定していますので、ぜひご参加ください。



▲檜原集落の座談会

●問い合わせ 介護高齢課地域包括支援センター ☎53-2111（内線3432）

今年度の取り組みを踏まえ、来年度は買い物ツアーを定期的  
に実施し、季節ごとに必要な商  
品を買う機会を作りたいです。

私は平成29年4月に着任以来、  
山北地区の高齢者の買い物支援  
に取り組んできました。  
昨年10月と12月には、山北地  
区まちづくり協議会、さんぼく  
スポーツ協会、さんぼく互近所  
ささえ～る隊と連携し、体操・  
買い物バスツアーを試験的に行  
いました。「バスで出かける」体  
操を教わる」「日常購入できな  
い品々を買う」など、普段体験  
できないことを楽しんでもらえ  
たようで、「みんなでお出かけ  
できて楽しかった」「また来月  
ツアーをやってほしい」などの  
感想も聞かれました。



川村 悠樹 隊員

## 高齢者の買い物支援のために



▲大型店への買い物ツアー

さらに山北地区内の組織・団体  
やサービスの連携を発展させ、  
買い物支援と地区内商店の活性  
化につなげることができればと  
思っています。  
また、各組織・団体の力を借  
りて、自家消費用の余剰野菜を  
集荷する仕組みを整えたり、さ  
んぼく軽トラ市での加工品販売  
にも挑戦したりすることを考え  
ています。

シリーズ

あさひ互近所ささえ～る隊の活動紹介

地域おこし協力隊通信

●問い合わせ 自治振興課自治振興室  
☎53・2111（内線3310）

23